

完全試合を食らっても、
立ち上がる海賊がいた！

『消えた球団 1950 年の西日本パイレーツ』

(著者) 塩田芳久

(価格) 1,760 円 (税込) 〈発売日〉2021 年 11 月 20 日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍『消えた球団 1950 年の西日本パイレーツ』を 2021 年 11 月 20 日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

プロ野球再編の波に翻弄され、

たった 1 年で姿を消した「幻」の球団を追う！

球界の盟主・巨人＝権力に屈しない反骨精神の源流！！

【完全試合を食らっても立ち上がる海賊がいた！】

「プロ野球史上初の完全試合を食らったチーム」

としてのみ名前が残る悲劇の球団の全貌を明かす！

「古事記」「日本書紀」の時代から厳然と存在する中央対地方の構図、

「勝者＝正義」「敗者＝悪」の図式に異議を申し立てた、と書くのは大げさだろうか。

いずれにせよ「巨人、何するものぞ」の始原となっただけでも、

パイレーツの意義はあった。プロ野球は巨人中心に回ってはいない。



西日本パイレーツ。

聞き慣れないチーム名だろう。1949 年にセ・リーグとパ・リーグに分裂した日本プロ野球は、同年の 8 球団から振興 7 球団を加えた計 15 球団(セ 8 球団、パ 7 球団)でスタートした。

パイレーツはセに所属する新生チームだった。福岡市に本社がある西日本新聞社が親会社で、同年に開場した同市の平和台球場を本拠地とした。

東京六大学・早大の名選手だった小島利男が監督を務め、投手では元巨人の緒方敏明、元金星の重松通雄、打者では元阪急の平井正明、日比野武、永利勇吉らが主戦となったチームだった。(本書「はじめに」より)

◆目次

- ①INNING 誕生
- ②INNING 栄光
- ③INNING 出航
- ④INNING 汚点
- ⑤INNING 彷徨
- ⑥INNING 抵抗
- ⑦INNING 合併
- ⑧INNING 後継
- ⑨INNING 証言

著者：塩田芳久

大正元年9月20日、香川県仲多度郡多度津町に生まれる。東京文理科大学(心理学専攻)卒業。

名古屋大学教育学部教授、南山大学文学部教授、大同工業大学教授などを歴任。名古屋大学名誉教授、全国バズ学習研究会名誉会長。勲二等瑞宝章受賞。1988年7月7日逝去。

【お問い合わせ先】株式会社ビジネス社 広報担当:松矢 〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。